

平成19年11月27日

ZAPPALLAS

各 位

会 社 名 株式会社ザッパラス

(コード番号 3770 東証マザーズ)

本社所在地 東京都渋谷区恵比寿一丁目19番19号

代表者名 代表取締役会長兼社長 杉山 全功

問合せ先 取締役管理本部長 山崎 浩史

T E L 03-5475-7133 (代表)

U R L <http://www.zappallas.com/>

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成19年6月11日に公表いたしました平成20年4月期中間期（平成19年5月1日～平成19年10月31日）および平成20年4月期通期（平成19年5月1日～平成20年4月30日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成20年4月期中間期 連結業績予想数値の修正（平成19年5月1日～平成19年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成19年6月11日発表)	3,748	721	751	418	3,252 92
今回修正予想 (B)	4,000	911	914	488	3,784 76
増減額 (B-A)	252	190	163	70	531 84
増減率 (%)	6.7	26.4	21.7	16.7	16.4
前期 (平成19年4月期中間期) 実績	3,259	683	683	357	5,685.79

(2) 平成20年4月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成19年5月1日～平成20年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成19年6月11日発表)	7,637	1,421	1,451	801	6,188 63
今回修正予想 (B)	7,891	1,631	1,634	882	6,796 95
増減額 (B-A)	254	210	183	81	608 32
増減率 (%)	3.3	14.8	12.6	10.1	9.8
前期 (平成19年4月期中間期) 実績	6,939	1,251	1,252	664	5,244 65

2. 個別業績予想の修正

(1) 平成20年4月期中間期 個別業績予想数値の修正 (平成19年5月1日～平成19年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成19年6月11日発表)	3,104	737	768	449	3,493 16
今回修正予想 (B)	3,441	911	914	551	4,273 37
増減額 (B-A)	337	174	146	102	780 21
増減率 (%)	10.9	23.6	19.0	22.7	22.3
前期 (平成19年4月期中間期) 実績	2,767	702	696	383	6,101 52

(2) 平成20年4月期通期 個別業績予想数値の修正 (平成19年5月1日～平成20年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成19年6月11日発表)	6,308	1,446	1,478	857	6,621 29
今回修正予想 (B)	6,647	1,640	1,644	970	7,475 11
増減額 (B-A)	339	194	166	113	853 82
増減率 (%)	5.4	13.4	11.2	13.2	12.9
前期 (平成19年4月期中間期) 実績	5,691	1,273	1,264	709	5,594 52

3. 業績予想の修正理由

(単体業績)

当期におきましては、各セグメントともに計画を上回る水準で推移しております。デジタルコンテンツ事業につきましては、既存コンテンツの会員数が堅調に拡大いたしました。新規コンテンツに関しましては計画を若干上回る47サイトを投入し、それによって生じた利益を広告宣伝に投下してまいりました。結果として、当中間期におきましては売上高が当初の計画を上回る見込みとなり、営業利益につきましても売上高の増収に連動して着地する見通しとなっております。またコマース関連事業につきましては、モバイルコマースにおいて従来から実施しておりました利益率の向上施策が当期においても好調な結果を出しております。その施策により生み出された当初計画を上回る利益相当分については収益の拡大を図るため広告宣伝への投入を行い、売上高においても増収が見込まれることとなりました。これらの結果、当中間期において売上高で10.9%、営業利益で23.6%、経常利益で19.0%、当期純利益では22.7%上回る見込みとなっております。通期におきましては、当中間期における増収・増益分を見込んで業績予想の修正を行っております。

(連結業績)

連結業績予想につきましても、個別の業績予想の修正が主な要因となり当初の計画を上回る水準で推移しております。携帯販売を展開している株式会社ジープラスにおいては、当中間期において業務の効率化を図るため、auショップ2店舗を閉鎖したことにより、当該子会社におきましては計画値を下回る見込みとなっておりますが、単体における増収・増益によって吸収され、連結におきましても売上高6.7%、営業利益26.4%、経常利益21.7%、当期純利益では16.7%当初計画を上回っての着地見込みとなりました。

4. 配当予想の修正について

(1) 平成20年4月期 配当予想の修正（平成19年5月1日～平成20年4月30日）

（金額の単位：円）

基準日	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
前回発表予想 （平成19年6月11日発表）	—	1,900	1,900
今回修正予想	—	2,200	2,200
前期（平成18年4月期）実績	—	1,600	1,600

(2) 修正の理由

当社では、企業体質の強化と積極的な事業展開に備えるために、必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を実施していくことを基本方針としております。具体的には配当性向30%を目処とし、内部留保の充実及び事業投資並びに各期の経営成績等を総合的に勘案した上で積極的に検討していきたいと考えております。

上記の業績予想の修正の通り、当期の業績が順調に推移しておりますので、これまでの株主各位のご支援にお応えすべく、当期の期末配当予想を1株当たり300円増配し、2,200円に修正いたします。

（注）本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断、及び判定に基づいて算定しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想数値と異なる場合があることをご承知おきください。

以上